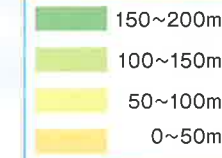


夕日寺健民自然園



- 針葉樹
- 落葉広葉樹
- 常緑広葉樹
- 竹林
- アベマキ・コナラ林
- ニセアカシア・ウツギ・ソメイヨシノ・ヤマハギ・ネムノキ・チャノキ・ヤマボウシ・キリ・エゴノキ・タニツギ・クリなど
- コナラ・ヤマボウシ・ウツギ・サクラ・オオバコ・モシ・ユキクニツバツツジ・ホトツツジ・ネジキ・ナツハゼ・ヤマツツジ・ホノノキ・コバノガマズミ・ミヤマガマズミ・ガマズミ・ヤマザクラなど

標高区分



凡例

- 遊歩道
- 車道
- 県有地界

里山を歩こう! お散歩コース

※起終点: 里山ふるさと館

①はじめの一步・らくらくコース →

(ビギナーⅠ)
朝日の道~どんぐりの道~ふれあいの小径~夕日寺歩道~夕日の道
(約400m: 20分)

どなたでも歩けるなだらかなコースです。短い距離ながら、季節毎にツツジやササユリなどの花、木の実などが見られ、里山の風景を楽しめます。

②つぎの一步・さんさんコース →

(ビギナーⅡ)
朝日の道~どんぐりの道~木もれ日の小径~夕日寺歩道~ふれあいの小径~どんぐりの道
(約500m: 30分)

多少の登り道がありますが、らくらくコース同様どなたでも歩ける、なだらかなコースです。季節毎に花、木の実など里山の風景や小鳥の鳴き声を楽しめます。

里山を歩こう! おすすめコース ※起終点: ふれあいセンター

●森林浴・るんるんコース (初級)

どんぐりの道~コナラの広場~夕日寺歩道
(約800m: 40分)

小学校低学年でも歩ける自然園のメインコースです。「木の自己紹介コース」もあり、樹木の名前を覚えながら、ゆっくり森林浴が楽しめます。

●生きもののいっぱい・わくわくコース (中級)

夕日寺歩道~コナラの広場~どんぐりの道~三王坂往来~サクラの広場~ヤマナラシの道~トンボサングチュアリー~水辺の道
(約1.2km: 1時間20分)

さまざまな植物や昆虫などの生きものに会える変化に富んだコースです。水辺ではトンボ類や初夏にはモリアオガエルの卵なども見られます。

●自然と文化・ときどきコース (上級)

夕日寺歩道~三王坂往来~伝燈寺歩道~農道
(約4.5km: 2時間30分)

自然だけでなく、夕日寺の歴史や人々のくらしにもふれられるコースです。距離が長く、標識のないところもあるので、経験者の同行が安心です。

三王坂往来 (三王坂遊歩道)
北陸街道の裏街道として、大樋町から尾根伝いに二俣を経て福光までの16kmの山道の通称。名前の由来は、花山法皇・後醍醐天皇の内親王・長慶天皇が通ったからなど諸説がある。

大休場
戸室山、医王山、白山、倉ヶ岳、日本海を一望できる。明治の初め頃まで茶屋が建っていたという。

法師山
戦国時代 (一向一揆の頃) まで伝燈寺を守るために砦が建っていた。所々に空堀が残っている。

カメ割地蔵
一向一揆に追撃された守護・富樫晴貞軍が「最期の決戦か」と互いに水盃を交わし、水がめをたたき割った場所と伝わる。

富樫晴貞の墓
加賀の守護大名・富樫家最後の当主晴貞は一向一揆勢に追い詰められ、伝燈寺を頼って当地まで逃れて生涯を終えたという。

城峯
越中からの侵入警戒の山城があった所。一向一揆では僧兵たちは晴貞を守り、命を投げ出して戦ったとされている。



集合場所

- 夕日寺歩道 (ふれあいセンター~コナラの広場~三王坂往来分岐) 約400m
- どんぐりの道 (ふれあいセンター~コナラの広場~やすらぎの広場) 約570m
- 管理用車道
- 水辺の道 (ふれあいセンター~トンボサングチュアリー (周回)) 往復約850m
- ヤマナラシの道 (山王口~サクラの広場) 約540m
- そよ風の道 (山王口~化石の広場~山王分岐) 約750m
- 伝燈寺歩道 (林道出合~法師山~伝燈寺町) 約1.4km
- 三王坂往来 (山王分岐~林道出合) 約1.4km
- 三王坂遊歩道 (夕日寺町~二俣町) (金沢市管理) 約8km

〈里山回廊〉
至奥卯辰山健民公園
約2.5km・徒歩約1時間20分